（２）社会教育

第2章	社会教育	第1節	ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進	
施策1	こころとふるさと意識を育む体験活動の推進		担当課係	生涯学習課青少年・スポーツ係

１　推進方策および今年度の取組内容

●体験学習機会の充実

・だてっ子遊び学びの教室（全8回）、親子体験教室等の世代間交流事業を開催する。
　特にだてっ子遊び学びの教室については、軽スポーツを取り入れ、運動のきっかけづくりと新たな参加者の創出にもつなげる。

主な取組内容	R6	だてっ子8回、親子体験教室1回実施。
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●市民団体等と連携した青少年事業の取組

・各種事業は、つどいサークル「ドロップ」、長生大学、伊達シニアクラブスポーツ少年団等の協力団体のもとに企画立案及び運営を行っている。事業を進めていくには必要不可欠な団体であるため、協力関係を維持継続し充実した青少年事業の開催を目指す。

主な取組内容	R6	あそびまして・姉妹都市交流を各1回実施、また、胆振管内ふるさとリーダー研修会（WEB）3名参加
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●青少年健全育成に関するサポート体制の充実

・青少年の非行防止等のため、青少年指導センター指導員とともに下校時間帯に合わせた巡回街頭指導のほか、夏季海水浴場キャンプ場、祭典時特別巡回を実施する。また、伊達市教護会等関係機関との諸会議への出席や合同研修会の開催を開催、広域列車添乗補導を実施する。

主な取組内容	R6	街頭指導226回（海水浴8回、祭典巡回8回含む）、列車添乗4回、研修会1回実施
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2　施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎14歳以下人口に対する青少年を対象とした各種体験教室への参加者数の割合									
参加割合	7.82%	8.7%	12.1%				9.00%	a	
参加人数	292人	296人	401人				268人		
◎									

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3　施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
A	青少年教育事業は、開催回数の増（6→8回）により、目標人数を上回る参加があった。

取組を進める上での課題と対応方針
体験学習機会の充実については、軽スポーツも取り入れる。（運動のきっかけづくり） 市民団体等との連携については、引き続き協力関係を継続し、充実した青少年事業の開催を目指す。 青少年健全育成に関するサポートについても関係機関と連携し、巡回等を実施する。

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	5	青少年教育事業	333		
	9	4	5	指導センター運営費	1,065		

第2章	社会教育	第1節	ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進		
施策2	交流活動を通じた地域づくりに参画する人材の育成			担当課係	生涯学習課青少年・スポーツ係

1　推進方策および今年度の取組内容

●リーダー養成研修・交流活動事業による人材の育成

・姉妹歴史友好都市シニアリーダー研修交流事業は姉妹都市である宮城県亘理町、歴史友好都市である宮城県山元町、柴田町、福島県新地町と継続実施する。交流を深めながら、レクや共同作業、集団行動を通じてコミュニケーションやリーダーシップの能力向上を図り、これからの地域づくりに必要な人材の育成を目指す。

主な取組内容	R6	伊達開来校生5名参加（シニアクラブはスポーツ競技大会参加のため不参加）
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●青少年育成団体と連携した事業の取組

・二十歳を祝う会事業は、実行委員会を組織し、式典及び余興の企画立案・運営を行う。
　協力団体；伊達フェイバリットクラブ（青年団体）

主な取組内容	R6	二十歳を祝う会において、フェイバリットクラブの協力を得た。
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2　施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎14歳以下人口に対する市及び関係機関が実施するリーダー研修講習会、世代間交流事業への参加者数の割合									
参加割合	1.34%	0.4%	1.5%				2.00%	b	
参加者数	50人	15人	50人				60人		
◎									

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3　施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
B	リーダー養成研修においては、姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会（亘理町開催）に高校生5名を派遣、リーダーの礎を築くとともに活発な交流を図ることができた。 「あそびましておめでとう」は、企画内容を検討し「粘土あそび」を開催したところ参加者増となった。

取組を進める上での課題と対応方針
リーダー養成研修においては、協力（参加）団体であるシニアクラブの団員数が減少しているため、伊達開来高校から募集している。 異世代間交流事業である「あそびましておめでとう」は、コロナ禍以降においても協力団体と協議し、開催時間の短縮と内容を変更し開催している。次年度においても協力団体と開催内容を検討する。

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	5	青少年教育事業費	333		
	9	4	5	姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修交流事業	525		
	9	4	5	二十歳を祝う会事業	137		

第2章	社会教育	第2節	共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進	
施策1	生涯にわたる充実した学習機会の提供		担当課係	生涯学習課社会教育係

1　推進方策および今年度の取組内容

●市民ニーズを的確に把握し、より受講しやすい講座の開設

・アンケート等（毎講座後）を実施し、市民ニーズを反映した多種多様な講座を開設

主な取組内容	R6	文化・芸術鑑賞講座1講座、市民カレッジ5講座を開催
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●民間企業などのノウハウを活かした学習内容の充実

・カルチャーセンター指定管理者等と連携し、人気のある講座を連続して実施するなど、民間ならではの柔軟な事業を実施

主な取組内容	R6	指定管理者において、21事業52講座を開催
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●サークル団体の会員増や活性化のための広報活動の充実

・市民サークルまつりの参加希望団体募集を広報誌で実施。市民総合文化祭や市民サークルまつりなどの事業について、更なる市民周知を図るため、広報誌などの媒体を用いて事業の周知を実施

主な取組内容	R6	文化祭及びサークル祭りの両事業を実施
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●男女共同参画の推進

・胆振女性リーダー養成研修や男女共同参画教養講演会への参加を促進するため、魅力ある事業内容を検討するとともに、広報誌等による周知を実施。

主な取組内容	R6	教養講演会を開催（17名）、胆振女性ﾘｰﾀﾞｰ養成研修（実地研修：埼玉県）に3名参加
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2　施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎推計人口に対する市が主催する市民講座・市民カレッジの受講者数の割合									
受講者数	249人	373人	736人				306人	a	R6実績より指定管理者主催事業を含む
人口比受講者	0.72%	1.18%	2.38%				1.00%		
◎									

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3　施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
A	市主催講座は予定どおり実施し、指定管理者が行う市民講座は講座数、参加者ともに増加しているため。
取組を進める上での課題と対応方針	
より多くの市民及び特に若い層の参加が増えるよう、周知方法を工夫し、また、アンケートによるニーズ把握から、企画内容への反映を検討する。	

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	2	だて市民カレッジ開設事業	174		
	9	4	2	男女共同参画社会づくり推進事業	28		
	9	4	2	胆振女性リーダー養成研修事業	155		

第2章	社会教育	第2節	共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進	
施策2	高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出		担当課係	生涯学習課社会教育係

1　推進方策および今年度の取組内容

●長生大学の事業内容のニーズ把握による学習メニューの充実と積極的なPR強化

・事業内容のニーズ把握の手段として、在学生に対するアンケート等を実施し講義内容の充実を図る。長生大学事業について、広報誌等を活用し事業の周知を図る

主な取組内容	R6	伊達21回、有珠21回の学習日、7回の学習外活動を実施、広報紙等で学生募集を周知
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●高齢者の参画が期待される、コミュニティ・スクールなどの活動内容についての情報提供

・放課後子ども教室等が希望する事業と、長生大学として提供できることについて、事業推進にあたり互いに情報共有できるような仕組みを構築

主な取組内容	R6	放課後子ども教室事業は令和4年度をもって事業終了
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2　施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎65歳以上人口に対する長生大学学生数の割合									
学生数	235人	165人	157人				282人	c	
学生数割合	1.88%	1.35%	1.29%				2.30%		
◎									

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3　施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
C	長生大学事業において、学習日は伊達及び有珠それぞれ21回を開催、学習外活動は7回の開催と概ね実施することができたが、減少傾向にある学生数が回復しないため。

取組を進める上での課題と対応方針
ライフスタイルの多様化により、長生大学事業に対するニーズが様々であることを踏まえ、長生大学の事業内容について検討する。

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	2	長生大学運営費	670		

第2章	社会教育	第2節	共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進	
施策3	家庭・地域の教育力の向上		担当課係	生涯学習課社会教育係

1　推進方策および今年度の取組内容

●地域住民が、コミュニティ・スクール等と関わり合いながら子供を育てる地域基盤の強化

・放課後子ども教室事業などに地域住民が参加して貰えるよう、自治会やPTAなどの地域住民に対して事業内容などの周知活動を実施

主な取組内容	R6	放課後子ども教室事業は令和4年度をもって事業終了、放課後児童クラブ運営事業を市内5か所で実施。
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

●関係機関と連携し、家庭教育に関する啓発活動の実施

・広報誌等による家庭教育の啓発活動を、関係機関と連携し実施

主な取組内容	R6	家庭教育の重要さについて、広報誌（7月号）及びHP等で啓発
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2　施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎家庭教育に係る講演会等の事業開催数									
事業開催数	1回	1回	0回				3回	c	

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3　施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
C	広報誌による啓発のみの実施となり、講座を開催することができなかったため。
取組を進める上での課題と対応方針	
令和5年度の講座受講者が少なく、実施の可否について整理されなかったことから、今後の実施について方法や方向性を整理する必要がある。	

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	5	青少年教育事業	333		

第2章	社会教育	第2節	共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進	
施策4	図書館機能の充実		担当課係	図書館業務係

1　推進方策および今年度の取組内容

●「伊達市立図書館運営基本方針」に基づく図書館の機能強化

市民の期待・要望・関心に応えるため、本の配架方法など館内整備に努め情報発信の充実を図る。POPコンテストを名称変更し秋の読書週間での審査を行う際に館内での飲食ニーズを探るなど新たな利用者層の開拓を狙う。
また、「伊達市立図書館整備基本構想」に基づき、新図書館建設にかかる基本設計・実施設計業務を行う。

主な取組内容	R6	情報発信の充実。POPコンテスト及び館内飲食ニーズ調査の実施。図書館整備事業。
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2　施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（R4）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎　図書館の1日平均利用者数									
図書館の1日平均利用者数	166人	127人	136人				164人	b	R4目標設定

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3　施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
B	既定の情報発信媒体に加え、インスタグラムからも情報発信を行い、様々な新規事業を試行した。併せて飲食実証実験も行うことで、来館者がリラックスできる環境が生まれ、賑わいが創出された結果、来館者数の増加につながった。図書館整備については、図書館整備基本構想に基づき、基本・実施設計を実施し、年度末に建物工事に着工することができた。
取組を進める上での課題と対応方針	
R8年度オープン予定の新図書館では、イベントスペースとグループ学習スペースを兼用する予定であるが、現在のイベントスペースに比べて面積が狭くなるため、イベントによっては規模を縮小するなど手法を検討する必要がある。 また、新館の開館時間を夜間まで延長する予定であり、R7年度に運営方法における協議が必要。	

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	7	読書普及促進事業	417		
	9	4	7	図書館整備事業	310,935		
	9	4	7	図書館整備事業（R5逓次繰越）	11,000		